

國嶋一則先生略年譜及び著述目録

《略年譜》

昭和 五年二月二三日

岐阜県大垣市に生まれる

昭和二四年三月

愛知県立旭丘高等学校卒業

昭和二四年七月～二七年三月

金沢大学法文学部哲学科 入学・中途退学

昭和二七年四月～二九年三月

東京大学文学部倫理学科 転入学・卒業

昭和二九年十月～三四年三月

世田谷高等学校講師

昭和三一年四月～三三年三月

東京大学大学院人文科学研究科倫理学専門課程修士課程 入学・修了

昭和三三年四月～三四年三月

東京農業大学附属第一高等学校講師

昭和三四年四月～三六年三月

東京大学大学院人文科学研究科比較文学比較文化専門課程修士課程

入学・修了

昭和三四年四月～三六年三月

東京農業大学非常勤講師

昭和三五年四月～平成二年三月

東京電機大学非常勤講師

昭和三六年四月～四〇年三月 東京大学大学院人文科学研究科比較文学比較文化専門課程博士課程

進学・退学

昭和三六年四月～三七年三月 東京農業大学専任講師

昭和三七年四月～四四年三月 東京農業大学助教

昭和三七年九月～三八年三月 アメリカ・シカゴ大学フェロウ

昭和三八年三月～七月 スイス・フリーブル大学東欧研究所客員

昭和三八年八月 ドイツ・フライブルグ大学留学

昭和四二年十月～四四年三月 駒澤大学文学部非常勤講師

昭和四四年四月～四五年三月 駒澤大学文学部助教

昭和四四年四月～平成七年三月 東京農業大学非常勤講師

昭和四五年四月 駒澤大学文学部教授

昭和五七年四月～五八年三月 臺灣・中華人民共和国に在外研究

臺灣大学・臺灣師範大学・北京語言学院にて研究

昭和六二年四月～平成元年三月 駒澤大学文学部文化学教室主任

平成一〇年四月～平成一一年三月 東京大学大学院総合文化研究科に在外研究

平成一二年三月 駒澤大学文学部教授 定年退職

駒澤大学名誉教授

《著書》

『人間と思想』新世書房 昭和四〇年四月

『論理学と分析哲学』新世書房 昭和四一年一〇月

『実存の告白』* 公論社 昭和五〇年一〇月

『死生観』公論社 平成七年四月

《論文》

「現代思想の分析——個人主義と全体主義」平成一二年三月（駒澤大学にて最終講演）

《編著書・共著書》

『原典が語る哲学説の歴史』公論社 昭和五〇年四月

『知の根拠としての論理学』公論社 昭和五一年五月

『思索の歴史』公論社 昭和五四年四月

『哲学思想の歴史』公論社 昭和五七年一二月

『新しい認識への論理』公論社 昭和五九年四月

『哲学理論の歴史』公論社 昭和六〇年一〇月

『鬼頭英一著作集』全8巻 公論社 昭和六三年八月

『西洋哲学の歴史』公論社 昭和六三年一月

『西洋哲学の展開』公論社 平成五年一〇月

『西洋哲学史』公論社 平成九年四月

《訳書》

G・E・ムーア『観念論の論駁』勁草書房 昭和三五年四月

H・コーン『西欧は没落するか』勁草書房 昭和三五年一月

J・M・ボヘンスキー『現代の思考法』勁草書房 昭和三六年五月

『ディアマート——ソビエト・ロシアの弁証法的唯物論』みすず書房 昭和三七年一月

『哲学思索への道』エンデルレ書店 昭和三八年三月

H・キユンク『再合同のためのキリスト教革新』（共訳）エンデルレ書店 昭和三九年一〇月

『世の信ぜんために』エンデルレ書店 昭和四〇年六月

J・M・ボヘンスキー『記号論理学の綱要』（共訳）勁草書房 昭和四四年四月

『マルクス主義哲学』公論社 昭和五〇年七月

エンゲルス『最後の護民官リエンチ』公論社 昭和五一年三月

ローエル『日本と朝鮮の暗殺』* 公論社 昭和五四年一二月

ビーバーシュタイン『ヨーロッパ反体制思想』（共訳）公論社 昭和五六年一二月

葉徳輝編序『雙梅景闇叢書』* 公論社 昭和五七年一二月

葉德輝編序 『雙梅景闇叢書 中国古典文学Ⅰ』*
公論社 昭和五八年七月

註 *を附した著述類は伊吹浄名義で刊行